

学校教育目標	「みんなと のびる」 ～自ら学び 関わり 高まりあう 児童の育成～	経営理念	(ミッション) 生涯にわたって主体的に学び、多様な他者と協働し高まりあおうとする人間力を育成する (ビジョン) 1 児童一人一人が、自己存在感を実感し、共感的人間関係の中で「豊かな心」を育むことができる温かい学校 2 児童一人一人が、学ぶ楽しさを実感し、みんなと伸びる中で「確かな学力」、「たくましい体」を育む学校 3 教職員一人一人が、児童に対する愛情と教育に対する使命感を持ち、専門性を発揮しながら対応できる組織的な学校 4 「開かれた教育課程」のもと、家庭や地域と連携し、伝統の継承と創造を実現する学校
--------	--	------	--

評価計画						自己評価				学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)		改善方策							
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	評価基準				達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策	
							4	3	2	1	10月	2月							
豊かな心(徳)	1	多様な他者を尊重し、協働できる児童の育成	○いじめ、不登校、問題行動のない学校・学年・学級づくり	学校・学年・学級経営の充実(情報の共有化と組織的な対応) 縦割り班活動の充実 無言掃除、無言移動、無言集合の徹底	3つの無言のうち、今年度重点項目目標『無言集合ができた』項目での児童の肯定的評価を80%以上にする。	80%	90%	80%	70%	60%									
			○東広島スタンダードの定着	ノーチャイムによる学校生活 キラキラカードの活用 心のサポーター、スクールカウンセラーの活用	「よくあいさつをする」をする項目での、保護者の肯定的評価を70%以上にする。	70%	90%	70%	60%	50%									
確かな学力(知)	2	主体的、対話的に深く学ぶ児童の育成	○個別最適な学び実現・指導の個別化・学習の個性化	ユニバーサルデザインの視点による授業づくり(場、ルール等) 授業研究を中心とした校内研修等による教師の授業力の向上(指導方法の工夫と改善) GIGAスクール構想の推進(ICTの活用による学びの充実)	「○○科(研究教科等)の授業はよくわかる」項目での児童の肯定的評価を90%以上にする。	90%	100%	90%	80%	70%									
			○協働的な学びの実現	探究的な学習や体験活動の充実 自学コンクールの実施	授業では、友達と話し合うことで、自分の考えを深めたり広げたりしている項目での児童の肯定的評価を90%以上にする。	90%	100%	90%	80%	70%									
			○基礎学力の向上		授業で一人一台端末の利用を「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童の割合を85%以上にする。	85%	95%	85%	75%	65%									
たくましい体	3	健康でたくましい心と体の育成	○望ましい生活習慣の確立と質の向上	健康教育の充実 体育科授業の充実 体育的行事の充実	「運動やスポーツに取り組んでいる」項目での、児童の肯定的評価を85%以上にする。	85%	95%	85%	75%	65%									
			○食に対する意識の向上		給食残食率を2.3%以下にする。	100%	110%(2.1)	100%(2.3)	92%(2.5)	85%(2.7)									
			○体力、運動能力の向上		「体育科の授業は楽しい」の項目での、児童の肯定的評価を85%以上にする。	85%	95%	85%	75%	65%									
地域とともにある学校づくり	4	保護者や地域に開かれた信頼される学校づくり	○保護者、地域と連携した「共育」の推進	学校運営協議会制度の推進(地域団体との交流、学校支援ボランティアの活用)	「学校は、保護者や地域と連携を密にしている」項目での肯定的評価を95%以上にする。	95%	100%	95%	80%	70%									
				学校教育活動に関する情報発信の充実	「学校の教育活動内容や児童の様子がわかる」項目での、肯定的評価を90%以上にする。	90%	100%	90%	80%	70%									
			○「働き方改革」の推進(業務改善)	業務改善の推進による時間の確保(教職員の協働体制の確立)	○勤務時間外在校時間・月55時間以下(年平均)の教職員を90%にする。	90%	100%	90%	80%	70%									
				積極的な年休取得奨励(年間行事の見直し、一斉閉庁日の設定)	「所属校は、働きやすい職場である」での肯定的評価を90%以上にする。	90%	110%	90%	80%	70%									

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。